

山口情報芸術センター [YCAM] シンポジウム

## 国際シンポジウム

ローカライジング メディア プラクティス  
「Localizing Media Practice—地域化するアートの未来」

2014年8月10日(日) 13:30—17:30 参加無料 ※要申込

山口情報芸術センター [YCAM] ホワイエ

## アート×テクノロジー、教育、産業—

## アジアのユニークな実践から見えるこれからのアートのかたち

山口情報芸術センター [YCAM] では、展覧会「MEDIA/ART KITCHEN YAMAGUCHI—地域に潜るアジア：参加するオープン・ラボラトリー」の一環として、国際シンポジウム「Localizing Media Practice—地域化するアートの未来」を開催します。

近年アジアでは、アーティストやディレクターたちが、大規模な資本に依らず独立して運営するスペースから、先駆的な活動が生まれる事例が増えています。このことは、激動する社会状況に対して敏感に反応し、既存の制度とは別の選択肢をつくり出すことで、アートを通じて新しい地域の未来を切り開こうという彼らの態度の現れとも言えるでしょう。

このシンポジウムでは、マレーシア、インドネシア、韓国、インドから、アートを通じて地域の課題に向き合い、その資源を活かすような活動をおこなう4人のディレクター/キュレーターを招いて、今日における「アートの拠点」をテーマに、議論を深めます。キーワードは〈ローカル〉〈メディア〉〈プラクティス〉。ユニークな活動を実践する人々の言葉は、アートの役割、そして私たちの社会の可能性を占うものとなるでしょう。ぜひご参加ください。



CONAの活動の様子(インド・ムンバイ)

## ■ パネリスト

- スージー・スレイマン (マレーシア/Digital Art + Culture festival代表)
- イ・スジユン (韓国/韓国国立現代美術館キュレーター)
- ヴェンザ・クリスト (インドネシア/HONF Foundation)
- シュレイアス・カルレ (インド/CONA foundationクリエイティブ・ディレクター)

## ■ モデレーター

- 会田大也 (日本/東京大学特任助教、前・山口情報芸術センター [YCAM] チーフエデュケーター)
- 阿部一直 (日本/山口情報芸術センター [YCAM] チーフキュレーター)

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ 山口情報芸術センター [YCAM]

TEL: 083-901-2222 FAX: 083-901-2216 メールアドレス: press@ycam.jp

〒753-0075 山口県山口市中国町7-7 <http://www.ycam.jp>

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。

## パネリスト

## ■ スージー・スレイマン (マレーシア)



建築家。Digital Art + Culture festival 代表。

Heritage of Malaysia Trust や Arts Ed and National Visual Art Gallery をはじめとする、パブリックからプライベートまで、様々なリサーチ・プロジェクトを手がける。

アジアの遺産を扱う Digital Art + Culture festival の代表を務めるかたわら、建築および文化に関する講演を行っている。現在は、リムコックウィン大学の大学院で教鞭を取る。実の兄弟であり、インタラクティブ・メディアおよび舞台やイベント向けのマルチメディア演出を専門とするファイルズ・スレイマンと共同で DAM (Digital Art Media) Interactive (daminteractive.com) を運営。教育、建築、デジタルテクノロジーを介してコミュニティを活性化する方法を模索している。

[www.dacfestival.com](http://www.dacfestival.com)

## ■ イ・スジュン (韓国)



韓国国立現代美術館キュレーター。釜山生まれ。ソウル大学校美学専攻卒業。

2001年よりメディアアートのキュレーターとして活動。大田(テジョン)市立美術館で開催された「Digital Paradise」(2005年)、「Hitchhikers to the Galaxy」(2009年)「Drawing in Technological Era」といった展覧会のキュレーションを手がける。2012年には韓国における急速なメディア文化の発展をテーマにした展覧会「Lay Artists」を企画。本展ではデジタル・メディア時代を担うクリエイターを招いた関連シンポジウムも開催された。

近年の主な企画に「Younghae Chang Heavy Industries」(2013年)、「The Future is Now!」(2013～2014年)、「Infinite Challenge」(2014年)、「シリン・ネシャット」(2014年)などがある。

## ■ ヴェンザ・クリスト (インドネシア)



1975年インドネシア生まれ。1996年 Indonesia Institute of the Arts (ISI) インテリアデザイン学科卒業。1999年、新たなメディアアートのためのラボラトリー「The House Of Natural Fiber, yogyakarta new media art laboratory(HONF)」を設立。技術を開発し、それを日常の中で使うことによりイノベーションを起こしていく手法で、プロジェクトやワークショップなどを展開。主なプロジェクトに、新しい農村運営のモデルを実践的に示した「MICRONATION/MACRONATION」など。本プロジェクトでは、研究者や地域の住民を巻き込み、エネルギーや食糧問題などに取り組んでいる。また、東南アジア圏で初となるファブラボ HONFablab を設立するなど、科学や技術の教育を基軸に、地域コミュニティの活性化を推進している。

[www.natural-fiber.com](http://www.natural-fiber.com)

## ■ シュレイアス・カルレ (インド)



1981年生まれ、ムンバイ在住。CONA foundation クリエイティブ・ディレクター。2008年マハラジャ・サヤジラオ大学美術学部修士課程修了。2009年 FICA インド若手現代アーティスト賞ほか。

インド内外の展覧会で作品を発表する傍ら、イギリス、オランダ、スイス、アメリカなどでレジデンスとリサーチをおこなう。2012年、ヘマリ・ブタとともにアーティストグループ「CONA」を設立。様々なバックグラウンドを持つ人々が対等にアイデアを出し合い議論するプラットフォーム、そして教育の実践の場を目指し、国内外の教育者、研究者、キュレーター、アーティストたちを招く。CONAでおこなわれるレクチャー、ワークショップ、レジデンス・プログラムなどは、アートの技法を学ぶものから、グローバル、ローカルな社会・文化・芸術的な問題や想像力を喚起するものまで多岐に渡る。

## 開催概要

## 国際シンポジウム

## 「Localizing Media Practice—地域化するアートの未来」

2014年8月10日(日) 13:30—17:30

会場：ホワイエ **入場無料** ※要申込

パネリスト：スージー・スレイマン(マレーシア)、イ・スジュン(韓国)、  
ヴェンザ・クリスト(インドネシア)、シュレイアス・カルレ(インド)

モデレーター：会田大也、阿部一直

## タイムテーブル(予告なく変更することがあります)

13:30-13:40 主催者挨拶、趣旨説明、ゲスト紹介

13:40-13:55 会田大也

13:55-14:35 スージー・スレイマン

14:35-15:15 イ・スジュン

15:15-15:25 休憩

15:25-16:15 ヴェンザ・クリスト

16:15-16:55 シュレイアス・カルレ

16:55-17:05 休憩

17:05-17:25 全体ディスカッション

17:25-17:30 会場から質疑応答

主催：公益財団法人山口市文化振興財団

後援：山口市、山口市教育委員会

平成26年度文化庁地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ

企画制作：山口情報芸術センター [YCAM]

## 関連展覧会

## 「MEDIA/ART KITCHEN YAMAGUCHI:

## 地域に潜るアジア—参加するオープン・ラボラトリー」

会期：7月5日(土)—9月28日(日) 入場無料

会場：山口情報芸術センター [YCAM] ホワイエ、スタジオB、2階ギャラリーほか

地域社会に根差した実践的な活動を展開している日本と東南アジアの若手アーティストの取り組みを紹介する市民参加型の展覧会。

## 関連イベント

## ワークショップ

日時8月8日(金)、9日(土) 各日14:00開始

会場：山口情報芸術センター [YCAM] ホワイエ

講師：8日＝スージー・スレイマン＋会田大也、9日＝HONF Foundation

国際シンポジウムに先立って開催されるワークショップ(各日完結)。

## シンポジウム申込方法

受付開始日：6月7日(土)

下記の項目を明記の上、メールまたはFAXにてお申し込み下さい。

- ・イベント名
- ・住所、氏名(ふりがな)、性別、生年月日
- ・電話番号、メールアドレスなど連絡先

メールアドレス：

**reserve@ycam.jp**

## 託児サービス

対象：0才(6ヶ月)以上

託児時間：開演30分前から終演30分後まで

料金：お子様1人につき500円、2人目以降は1人につき300円

申込方法：8月3日(日)までに、チケットインフォメーションまでお申し込みください。

**車椅子席** 事前にお問い合わせください